

御嵩町及び御嵩町議会新庁舎等整備事業懇談会 第3回懇談会 議事要旨

日時:令和6年6月28日(金) 午後1時から午後4時20分

場所:御嵩町役場 本庁舎2階 第1委員会室

出席者:御嵩町議会議員全12名、御嵩町長ほか関係職員12名

町長

はじめにお願いであるが、懇談会の期限を7月31日としている。いつまでも先送りしておくわけにはいかないの、あらためてご承知おきいただきたい。位置条例については、懇談会を経てからと考えている。当然、位置条例ありきでやっているわけではないのでご理解いただきたい。現計画はバイパスエリアであるが、そのまま進めるのか見直すのか大筋で本日確認出来ればと思う。

～前回の振り返りと事前質問に対する質疑応答～

議員

事業費の黒塗り箇所のデータ開示について、全部一律ではないと思うのだが。すでに完成している自治体は開示しても支障が無いのでは。絶対に駄目であるのでは仕方が無いが。一度確認してほしい。

町

可能かどうか確認をする。どの自治体の数値を知りたいのか。

議員

基本的には同規模の自治体であるが、出して良い自治体は見せてほしい。

議員

平成27年の庁舎検討委員会の議事録について、細かな議事録はないのか。

町

本日、議会事務局へ提出した。そちらで確認いただける。

議員

財政グラフについて、実質公債費比率のメモリを広げてほしい。同じに高さ見える。

町

上下するグラフがご希望であれば作成する。

議員

グラフの差が小さいため見る人を惑わしている。13と6では倍近い数字の差である。

町

そのような意図はない。

議員

平成20年頃の数値が悪いのはなぜか。

町

主に下水道会計の起債残高が多かったためである。

議員

その時の残高はいくらなのか。

町

正確に答えたいので一旦確認する。

議員

3.7ha について根拠がない数字はおかしい。これだけ必要だからこれだけ調達するという説明が必要。町長の言われるコスト削減はここを触らないと大きくは変わらない。6億円について、残土を調整する会議があるのでそこに出せば見込みが取れるのでは。

町

調整を図る意味で一つの手としてはある。ただし可能性として、必ずもらえるかは明言できない。議題として挙げるのは可能かと思う。あとは当方のスケジュールが大前提である。

議員

JR のトンネル残土の交渉するつもりがあるのか。

町

リニアの健全土は使えるという意見はもらっている。使えるものは使っていけばよいという思いは持っている。リニアの土を含めて使える土の情報を集めることは大切だと考える。

議員

高低差があるので擁壁を造る必要がある。そうなると盛土を減らしたとしてもそれほど価格に影響が出ないのではないか。

町

盛土を減らした場合、擁壁の高さが低くコンパクトになるので造成工事費が下がる可能性はある。ただし調査報告書にも記載のとおり、バイパスと同じ高さまで盛土をすることで安全性が確保されるとの意見があり、町としてはバイパスと同じ高さの盛土が前提であると認識している。逆に面積を減らそうとすると誰のどこの部分を減らすべきかという議論が生じてくる。

議員

今の議論は買わないという議論か。買って盛土をどうするかという議論はないのか。土羽でやればよいのでは。

町

開発基準で認められれば土羽で擦り付けることも可能。ただし敷地の有効面積が狭くなる。

議員

町(使用目的の無い用地を確保するのは農地法上認められない。

町

その通りである。

町

先ほどのご質問について、下水道の地方債の残高が約66億円あったこと、また、基金の残高が約17億円しかなかったことが大きな要因である。なお現在は約22億円の残高である。

～第3回論点:新庁舎の位置及び費用について～

議員

計画地は地質調査を実施しておりその資料を持っている。開示して説明をしてほしい。自分が検証したところ支持基盤が深い所までない。職員もしくは当時のコンサルに地質構造の状況を説明してもらいたい。無理なら駄目だが本来は前提条件なので検討し対応してほしい。

町

建物設計をした東畑建築に支持基盤の考え方について確認した。計画地周辺は約6m下の位置に支持層がある。地盤の強度を示すN値50以上が基準であるが、6mくらい地下に支持層として出てくる。その高さまでは地盤改良をして建物の強度を保つ設計となっている。

議員

それは1カ所だけではなく高低差がある。場所に基づく。きちんとした造成基盤をつくるためには想定する範囲で総事業費が可能であるのか検証するのが今回のテーマでもある。地盤調査をしたコンサルがいるので招集してほしい。

議員

支持基盤を確認した上での設計上の総額を出しているという認識であるが。

町

その通りである。全て事前の調査に基づいて設計し、安全性を確認している。

町

計画地のボーリング調査の結果も出来ている。

議員

可児川沿いに河岸浸食エリアがある。現計画では3案が採用されている。1案を採用すれば河岸浸食を避けられるのでは。78億円について造成工事費用がかかる。庁舎自体の費用でコスト削減する。現庁舎の大規模耐震工事をして近い将来に建て替えが必要になるのでバイパスエリアに移転新築の方が安価ではないか。移転新築すれば経済的に、課題解決への大きなメリットがある。

議員

総事業費ではなく町の負担に目を向けるべき。ホールの休止は疑問。78億円を下回った所で反対者は賛成するのか。響かないのではという主観あり。ホールを造る予定がなくなったのかという問い合わせもあり、心配している人もいる。しっかり議論していただきたい。総額を削るのであれば防災広場ではないか。震災時に使うものである。防災広場にバイパスレベルの高さが必要なのか。そこに力を入れすぎて総額が上がるのはもったいない。土に対してはお金をかけたくないので交渉してほしい。位置条例は遅くとも次回定例会終了までにしてほしい。役場の地方債も使えなくなり町の負担も増えた。職員の人件費、時間のコストどんどん増えている。時間をかけてもしょうがない。

議員

庁舎の位置については、現計画地であるバイパスが良い。ハザードエリアの認識、耐震工事の限界について理解をした。ただし北庁舎のハザードについて、保健センターが残るのか。話のつじつまが合わない。当然のことながら移転しないと整合性がとれない。保健センターは移動すべき、

建物を残す、残さないは別の話。離れていると不便でないか。事業費の減額案についてはあれもダメこれもダメではいけない。バイパス沿いに庁舎と保育園、児童館を造り、川沿いは高さそのままにするという考え。大きくコストが下がらない。盛土材料は何としても調達すべき。土にお金をかける必要ない。それをやらない限りは全体のコストは下がらない。ホールをやめて防災広場にしました、駐車場をやめて防災広場にしましたでは説明がつかない。説明できるようにしなければならない。防災広場と銘打っているのに防災倉庫やトイレが無いのは整合性がない。前回、木造はやめるという話をされていたが。

町

木造についての議論はあまり出ていないので議論いただきたい。

議員

木造にするべきではない。24年という耐用年数が少ない。つじつまが合わない。RC もしくは鉄骨に賛成する。

議員

庁舎を小規模にする、保健センター移転の協議は出来ていないのか。木造をやめれば安くなるのではというイメージは持っていると思うが。

町

コスト比較など考慮の部分が出てくる。床面積を小さくという話がある中で、保健センター移転の議論も出て来ており、面積的に入る、入らないという議論がある。保健センターのご意見をいただいているので考えないといけない。ある程度のイメージを示せれたらと思う。

議員

可児川沿いの防災広場のレイアウト案について、防災広場として使うとなると周囲をフェンスで囲わないと高低差が出来て落ちる可能性もある。そんな使い方が出来るのか。本当は埋めた方が良いのでは。

町

議員が言うバイパス側に建物を集約し、北側を掘り下げて防災広場とすると水が流入することになる。水が流入しないよう防波壁を造らないといけない。

議員

防災広場として使おうとするからそういう議論になる。調整池のようにすればよい。高さを同じにしても災害時に広場には集まらない。排水の問題として高さの低い所に水が流れてきてしまうということはあるが、災害時の問題にはならないと考える。大雨の際は1段下がった場所は使わない。震災時には使えるかもしれない。

町

一番北側に排水施設を造ろうとしているということか。今は地下ピット式を造ろうとしている。それを安くするためには地上式にして一段低いような駐車場形式にして排水する方法がある。ただし川との高さの関係で大きく盛土が減らせるのか、川沿いの高さとの関係でそれほど減らせないかは設計しないと分からない。可児川の底より低い所にあっても意味が無い。

町

土のままの調整池はあり得ない。

町

芝生広場のまま調整池とする場合、水が浸透してしまう。底面はコンクリートなど浸透しない対策が求められる。

議員

防災広場という名前もやめればよい。

議員

一度論点を整理してほしい。今はコストが安くなる方法を話しているのか。

議員

盛土を減らすということが、一番理解が得やすいという話であると思う。

町

畔が残る地形でも防災テントは張れるという意味か。

議員

別にそこまでではない。少なくとも住宅が建っている高さまでにはするだろうが、2mまではいかないだろうという話。

町

調整池は新庁舎エリアに降った雨を排水するための貯水池である。そうすると壁を造らずに雨が降った時に可児川から入ってしまうとすると貯水池にならない。少なくとも入ってこないようにした上で地盤を下げる必要がある。

議員

調整池をつくるにしても可児川があふれた時に排水能力の機能がない。どの程度で排水させる構造にするのかを考えると、地下にプールさせて水を引くのか、平時は駐車場にしておいて一旦貯めておいて水門を開けるのか。敷地だけではなく堤防があふれた時は何ともならない。擁壁をしてしまうと水が逃げなくなってしまう。南山自治会集落の水をどう逃がしていくかが課題。排水について相当気をつけておかなければならない。防災広場が機能するかは検証しないといけない。どういう形で水を逃がすかが開発のための調整池だけではいけないと思う。

議員

市町村役場債が延伸されればよいが、その見込みは。

町長

その起債は使えないという想定でいる。

議員

地方債の半分くらいは交付税に算入できるのか。

町

できる。緊防債を使えるのが多い。防災広場や造成費用などに。

町長

用途としてはそれが一番有利という考えである。

議員

緊防債について、延伸されるのではないかと国会の動きを見ていてそう思う。報告書を見ていて気になるが、候補地の選定は議員独自の選定という部分。最終候補地の決定、具体的な決定

は執行部に委ねられたと理解するとある。町議会への報告は必要であったと検証されているので最終候補地の決定の部分で議会とコミュニケーションが取れていなかったと思う。バイパスエリアというのは議会で決めたことである。

町

第1回懇談会の意見について確認したい。前回意見では現庁舎の耐震化については入っていない。先ほど位置はここでもいいんじゃないかという意見もあった。庁舎の位置について、ここでの耐震化で対応するという議論は外すということによいか。

議員

ここの建て替えに限界を理解した。土砂災害の危険があると言われてここが良いとは言えない。

議員

耐震化ということは無しの方向で、皆さんよろしいですか。異論はないのか。

～異論はなく、現庁舎の耐震化の議論は無くなったことを確認～

町

それでは、耐震化を議論からそぎ落とすという形で進めたい。続いて面積について、前回土地は全て購入するべきだという意見と、縮小を考えなければいけないという意見があった。議員から防災広場を無くすのであれば面積も縮小しないと整合性が取れないという意見があった。総事業費を抑えることとの兼ね合いについての議論をしてもらいたい。

議員

議論というか案はないのか。出来ないのであればどうしようもない。買うのは全部だが配置を変えてやればコスト的にも下がる。ホールをやめて防災広場にしたことの整合性を説明できなければいけない。もともと防災広場の必要面積はどれだけであったのか。3.7ha の必要面積の根拠がどこにもない。2haはあるがそれ以上は無い。なぜ3.7haになったかの理論武装しておかないと突っ込まれる。

町

町民目線でということか。

議員

もちろん。

町

購入するのは3.7ha でよいか。

議員

マストだと言われから仕方がない。しかし根拠がない。

議員

地権者の立場で考えると買ってあげないといけない。

町

説明は必要だが3.7ha を確保するということがよいか。費用の確認、物価高騰を加味して出来るだけ最小限とし中身が大事という声もあった。町として出来るだけ額を抑えようとした。ホールの休止、亜炭充填の規模縮小など。意見をいただきたい。

議員

町民への説明が大変難しい。今まで町民へ説明していたのは、将来への負担については起債が色々ありホールを造っても造らなくてもそれほど変わらない。町の財政的に十分耐えうると説明をしてきた。今回のことで負担がどう変わったかをどう町民に説明したらよいか悩む。前に言ってきたこととは違うのかということになる。

町

ホール有無によって約5億円変わる。財政的シミュレーションとしてはホールの有無で大きくは変わらない。5億円を多く見るか少ないと見るか。前回の意見では夢のあるものとしては建てるべきだという意見もあった。

議員

若い人たちの中にはホールに希望を持っている人がいる。その人たちのことを考えるとホールをやめた場合、その後に希望が持てる返事をしたい。将来的にはいつ頃考えているなど、希望のある答えを考えてほしい。

議員

ホール休止するとなると、多分請願などが出てくるのではないかな。

議員

物価上昇は誰もが理解しているので、説明としては無難である。

議員

大事なことは本当にホールが将来的に必要なのか。17000人前後の町にホールが必要なのか。既存の建物の中に代替措置が取れないのかということを考えていかなければならない。100億を簡単に言うべきではない。物事の考え方、起点を考えないと。町の実情、高齢化して空き家が増え、町全体が疲弊してきている。その中で行政だけが大盤振る舞いとは極めて危険。もう少し慎重に考えていく必要がある。

議員

長い目で見た時、若い3人の議員が一番負担していく。若い3人意見が重いと思う。

議員

自分の周りの人は、なんであの場所に行くのかという意見がある。あまり片方の意見で寄っていくと意見が割れてしまう。役場に色々お願いをすると、今は新庁舎にお金がかかるから対応出来ないと言われている。感覚的に納得できる説明が出来なければいけない。庁舎整備検討委員会ではまちづくりではなく、庁舎を検討するところと言い切っている。このスタートから何故か色々つくつきすぎた。本来は庁舎をどうするかで始まったはず。深い議論をされなくて進んでしまった。ほしいだけでは駄目だと理解してほしい。ほしいだけの理論は町民には難しい。

議員

ホールについては、色々な考え方があると思う。造ることばかり専念してどう活用するかが議論されていない。今は造る段階ではない。この先造るための基盤づくり、ビジョンが必要。話し合いが出来る人の意見を聞きたい。

議員

若い人の意見を聞いた。どう説明をしていくか。中公民館は空調、音響設備が相当悪い。お金

がかかるが中公民館を公的なものとして使う決定が出来ればよいが。ホールを希望する町民への説明が出来ない。

議員

昔からホールを造ってほしいという意見はあった。文化系の人から御嵩が飛ばされていると。

議員

議員も希望と現実を加味して考えなければならない。実際、他自治体を見てもホールの維持にコストがかかっている。ただ御嵩町の文化が発展しないのはホールがないことにも寄与している。

議員

目標としていつまでに整備するかということであればまだ分かる。

議員

そのためにホールについてはじっくり考えていきたい。敷地だけは決めておいて。

議員

ここで議論を切るのではなく、継続して希望を持てるようにしてほしい。

議員

町の文化維持は箱物ではなく人間が大事。御嵩飛ばしが本当に起こっているのか。公共施設の更新の必要性があるのであれば対処していくのは大事。今緊急性があるのかは検証しなければならない。

議員

実際に御嵩飛ばしは起こっている。

議員

今議論してくださいと言われているのは総額のこと。ホールについては議論不足だと思う。公民館を今後どうしていくかも決まっていない。議員それぞれ支持者がいるが、自分には78億を抑えてほしいという声を聞く。場所は移転先でも良い。どうしたら費用が抑えられるのか。造成費はかかるとは思っていたので何とか抑えられないかを考える。保育園と庁舎がセットになっているところが問題。自分が聞く意見の多くは、ここで建て替えという人が多い。なぜ移転しなければならないのか。なぜ3.7haなのかということを説明していかないと納得してもらえない。1期工事と2期工事、分割工事が難しいのは理解した。質問状にも書いたが、川沿いが侵食するので保育園を南にずらせないと考える。

町

分割申請と分割工事の可能性についておさらいする。県の農転許可申請、開発申請は完全に一致したものでないと受け付けてもらえない。半分だけ整備して半分だけ絵を描いては認められない。議員の半分は高さをとどめておけばという意見については、県が認めてもらえる範囲ではよいかもしれない。

議員

農転の申請は取下げている。これから農転をやる。出た意見をつぶしてはいけない。

町

額を抑えるアイデアを出していただく場であり、否定しているわけではない。

議員

基本的に今までの計画を見直して検証するというのが出発点である。今までの開発申請書類にこだわる必要はない。新たな計画書、必要面積で県に申請すればよい。

町

開発申請では何がネックになるかという道路位置である。建物の位置を多少ずらすのはよいが、道路形態を変えると年単位で時間がずれ込む。ここが非常に危惧している箇所。

議員

道路計画と言っても交差点が出来る可能性の報告を受けているに過ぎない。本協議の通った結論でもない。

町

警察との交安協議を経て計画を進めている。

議員

それは決定か。

町

この計画をもってして県への開発協議や農転申請をした。その協議は整っている。

議員

だとしても出入口は信号交差点でそこを崩す必要はない。開発申請の大本である道路計画等については大幅な修正は必要ない。

町

道路計画とは場内道路の付け替えのこと。これを変えようとする時間がかかる。

議員

こういうアイデアで金額が下がらないかということ。その作業をもう少し詰めていってもらう。安全がなくなったら意味が無い。6億円造成に必要ということなら仕方がない。無理やり形態を変えて使い勝手が悪くなってはいけない。

町

地盤を低くしたままに進めるとポンプアップが必要となる。その場合の費用との比較が必要。今ここで否定する話ではなくて、どこかで分岐点が出てくるので、河川協議などをしてどういう施設を持ってくるかという設計や概算をしてみないとどちらが安いかは分からない。

議員

町長は現計画を元にコスト削減していくとしているのでそれに向かってやるしかない。前提とは言っても前提は一度崩した。結構時間がかかる話である。短絡的にやってはいけない。みんなが納得できるまでやるしかない。早くはやりたいけどそこで拙速になってはいけない。場所としてはバイパスエリアという意見になったのではないか。一つずつやっついていかないとはいけない。

町

防災広場の設備について、どう理解するか。

議員

防災と言いながら照明を削ってはいけない。当たり前の話。倉庫を無くすのも。

議員

北方町を何回も見てきた。庁舎の前に防災広場がありいいなと思った。専門家ではないので、素人なりに防災広場があると大規模災害の時に役に立つなと感じた。防災広場には付随するものが必要である。

町

防災上削れないものは削らないという考えである。物価高騰も視野に入れながら削っていく。

議員

防災広場の平時にはイベントに使える。若い人たちは使いたいという思いがある。平時の使い方も考える必要がある。使い勝手が重要である。町民の憩いの場として集めるか。

議員

防災広場にはそんな議論はない。イメージで50億と言ったのは、盛土で6億、造成で4億を減らすという意味である。78億からどう減らしたか努力したかである。

議員

前回も言ったが、保健センターと一緒に移転するべきである。そうでないと若い人はよいが高齢者は移動が大変である。一か所で用事を済ませる。庁舎の場所はバイパスエリアに賛成する。

議員

庁舎だけを新しくすることから始まったが、町として将来のことを考えて夢が広がって現計画になった。そこに至るまでに行政の提案や議会の吟味もしたのになぜこうなったのかという気持ちもある。出来るだけ希望して計画してきた原案で進めてほしいが費用がネックになっている。防災広場としていても、この先ほしいものが出て来て建てることもあるかもしれない。町の中心で複合施設を考えるのであれば、保健センターを残すのはどうかと思う。費用面から考えると有効な計画案を考えてほしい。複合施設は費用を抑えながらも建て甲斐のある利用度の高いものと考えてほしい。

議員

バイパスエリアについては賛成。時代に合わせた金額が出てくるが、庁舎を働くためだけのものではなくまちづくりという付加価値を含めたものとして考えた方がよい。場所を決めてやっていくという方向性は示してほしい。周りの若い人たちは本当に庁舎が出来るのかということ聞かれる。令和5年度に出来るということで色々な会議にも出てきた。まずはやりますよということをしつかり示してほしい。その方が説明しやすい。町民に出せる情報が議員としてほしい。ホールについては時代のニーズに合わせて、アリーナでも良いのではないかなど色々な意見があるのでこれからしていければと考える。

町長

懇談会は7月31日まで、それまでに進めていきたい。答弁でもしたが現計画のまま進めることはしない。見直しをしつつ極力総事業費等縮減を図っていく。ただし必要なもの、防災上安全上無くしてはいけないものはしっかり準備していく必要がある。すみ分けが必要。庁舎の位置としてはバイパスエリアを念頭に今後議論していきたい。車座でもそうだが様々な意見がある。説明をしきらないといけない。議会と一緒に理理論武装を考えていかなければならない。それが合意につながっていくと思う。